

(様式1)

平成29年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 085	提案機関名 横須賀市東部漁業協同組合
要望問題名 マガキ等の二枚貝の養殖技術指導	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 マガキ養殖は、種苗入手から販売まで一連の技術を習得することができた。今後、横須賀支所、走水大津支所及び浦賀久比里支所のカキ養殖グループは、需要に対応できるよう生産規模を拡大する予定である。 そこで、さらに品質の良いマガキを養殖するために、水技センターには情報提供や技術的なサポートをお願いしたい。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部普及指導担当
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 沿岸水産資源再生技術開発事業費、水産業改良普及活動費			
対応の内容等 横須賀市東部漁協のマガキ養殖は、すべて一粒かきで販売されています。新しい品質向上の取組みとして兵庫県のブランド一粒かきは、静穏度の高い海面で大きく貝殻を成長させ出荷数週間前に沖の波浪の影響を受ける海面に移動させて、貝殻の成長を抑え身入りを良くする養殖をしているようです。この養殖方法だと1年物でもぷりっと身入りの良い一粒カキが作れるそうです。この養殖方法を取り入れた技術指導を行うとともに、深さ計や加速度計などの機器を使ってデータの解析も実施する予定です。 また、付着生物の除去の方法として、カキに付着したムラサキイガイやシロボヤを65℃のお湯に漬けて死滅させる温湯処理法がありますので、この技術なども普及する予定です。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			